



奈良県感染症情報

令和2年第12週(3月16日～3月22日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.21	(2.62)	↘	↘	↘	↘
2	A群溶連菌咽頭炎	1.29	(1.35)	↘	↘	↘	↓
3	インフルエンザ	0.45	(1.82)	↓	↓	↓	↓
4	咽頭結膜熱	0.29	(0.26)	→	→	→	↑↑
5	伝染性紅斑	0.26	(0.29)	↘	↘	↘	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数は前週に引き続き減少し、定点あたり報告数が「1」を下回りました。3月中に定点あたり報告数が「1」を下回るのは平成22年以来です。

新型コロナウイルス感染症については、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策をしっかりと行うことが重要です。また、多くの事例では新型コロナウイルス感染者は、周囲の人にほとんど感染させていないものの、一人の感染者から多くの人に感染が拡大したと疑われる事例が存在します。これまで集団感染が確認された場に共通する「1.換気の悪い密閉空間、2.人が密集している、3.近距離での会話や発生が行われる」という3つの条件が同時に重なった場所(換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間(密閉空間・密集場所・密接場所)に集団で集まることは避けてください。

小児科外来情報

北部地区(矢追医院)

外来患者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で
 通年の半分程度です。
 感染症はほとんど無く、アレルギー疾患があるだけです。
 インフルエンザも終息したようです。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

受診控えの影響か外来数は少ない。
 インフルエンザは減少、B型がわずか。
 兄妹のhMP陽性例があった。
 感染性腸炎が持続してみられる。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザは減少。B型が散見されるのみ。
 胃腸炎は増加しているが、軽症例が多い。
 アデノウイルスや溶連菌による咽頭炎もみられる。
 ウイルス性肺炎はヒトメタニューモウイルス感染によるものが多い。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 12 週 3 月 16 日 ~ 22 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	25 (0.45)	4 (0.29)	5 (0.36)	2 (0.18)	8 (0.80)	4 (2.00)	2 (0.50)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	8 (0.24)	1 (0.11)	5 (0.56)	1 (0.14)	1 (0.17)			
咽頭結膜熱	10 (0.29)	3 (0.33)	1 (0.11)	4 (0.57)	1 (0.17)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	44 (1.29)	5 (0.56)	7 (0.78)	16 (2.29)	16 (2.67)			
感染性胃腸炎	75 (2.21)	13 (1.44)	25 (2.78)	18 (2.57)	14 (2.33)	2 (2.00)	3 (1.50)	
水痘	8 (0.24)	2 (0.22)	1 (0.11)	3 (0.43)	2 (0.33)			
手足口病	1 (0.03)	1 (0.11)						
伝染性紅斑	9 (0.26)	5 (0.56)	2 (0.22)		2 (0.33)			
突発性発しん	5 (0.15)		2 (0.22)		3 (0.50)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)				
基底定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)				2 (2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(奈良市1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(奈良市1)
5類感染症	

❖ 第12週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の見解等(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00093.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男						3	2	2		1				1	1				1		11	2999
	女			1	1				3	1	1		2		1	1	1				2	14	2902
RSウイルス感染症	男			4		1																6	96
	女		1	2																		2	63
咽頭結膜熱	男		1	1	2			1														5	50
	女			3			2															5	46
A群溶連菌咽頭炎	男			5	2	2	6	3	4	2	3	2			1							30	388
	女			3	2		2	2	4		1	1			1							14	302
感染性胃腸炎	男		1	2	5	3	3	1	7	3	1		4	2	9							41	934
	女		1	4	1	6	2	5	3	1	1	1	2	2	7							34	834
水痘	男			1		1		1	1				1									5	58
	女						1		1				1									3	56
手足口病	男				1																	1	25
	女																						18
伝染性紅斑	男					4			2	1												7	130
	女						2															2	97
突発性発しん	男			2	1																	3	57
	女		1	1																		2	39
ヘルパンギーナ	男																						1
流行性耳下腺炎	男																						4
	女																						3
急性出血性結膜炎	男																					1	13
	女															1							10
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男				1																	1	13
	女						1															1	11
クラミジア肺炎	男																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						5

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

